

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0590
施設名	昭島ゆりかご第二保育園
施設所在地	昭島市田中町3-5-20
法人名	社会福祉法人ゆりかご会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

音の仕組み

<テーマの設定理由>

様々な楽器に触れたことで音の高低や強弱に関心を持つ発言があったため。

2. 活動スケジュール

リズム遊び、楽器遊びを楽しむ。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

【準備した素材】

タンバリン・鈴・カスタネット・グロッケン・マリンバ・鍵盤ハーモニカ

【環境設定】

関心のある楽器を選び、合奏遊びを行う。各楽器ごとのパート練習を通してその楽器の音の出し方や響かせ方を自分で工夫できる環境をつくる。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

興味のある楽器に触れて、それぞれの音を楽しむ。その中で音の大きさや響きの違い、種類の違いに気が付きひとり一人が好きな楽器を選んでいた。特にシンバルとタンバリンは空気が揺れている感覚に気が付ける子が多く、それを共有することで全体が音の鳴り方、鳴らし方に関心を持つことができていた。



<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

子：(シンバルを鳴らして)この楽器が一番音が大きい

子：空気がぼわんぼわんってしてる

子：やってみたい

保：【どうしたら音の大きさを変えられるんだろう】

子：(シンバルを)優しく合わせる

子：半分だけ合わせてみる

子：『ぱちんと合わせたら音が鳴らなかった』

子：【なんで合わせたのに音が鳴らなかったんだろう】



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

楽器遊びから音の大きさや音色の違いに気が付いていた。叩くように音を出した時、予想より音が出ないことに気が付いた。反響させられなかったら音が鳴らない、音が小さくなってしまふことを伝えると子どもたちはさらにその仕組みに関心を持っていた。生活に身近な所にも反響して音が出ていることがわかりやすい事象があるので、子どもたちの気付きになれるような働きかけや子どものちょっとした一言や動きを見逃さないようにしていきたいと感じた。